

# 電波暗室レンタルサービス

開設5周年記念キャンペーン価格（期間限定）でご提供中です！

通常料金  
1日あたり110,000円～ ⇒ キャンペーン料金※1  
1時間あたり5,000円

※1 別途、機器利用研修費3,000円が必要となります。過去1年以内にご利用いただいたお客様は不要です。



## ■お問い合わせ先■

株式会社Wave Technology

URL : <https://www.wti.jp>

本 社 : 〒666-0024 兵庫県川西市久代3丁目1番21号

営業部 : TEL 072-758-2938

Wave Technology  
ウェブサイト

WTI社

検索

メールでのお問い合わせ先 : [tech@wti.jp](mailto:tech@wti.jp)



# 開設5周年記念キャンペーン価格（期間限定）でご提供中です！

通常料金  
1日あたり  
**110,000円**～



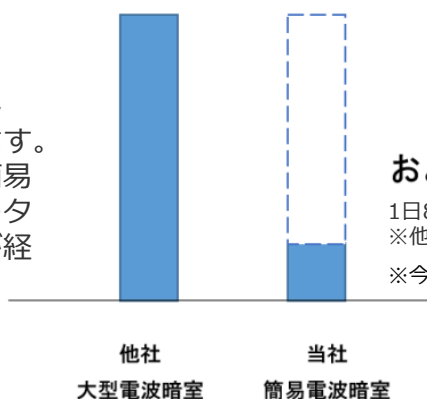
キャンペーン料金※1  
1時間あたり  
**5,000円**

※1 別途、機器利用研修費3,000円が必要となります。過去1年以内にご利用いただいたお客様は不要です。

## 【簡易電波暗室を利用するメリット】 100万円 約20万円

### ●レンタル費用が安い

ノイズ対策には時間がかかりますが、その間、大型の電波暗室をレンタルし続けると大きな出費になってしまいます。そこで、時間を要するノイズ対策は簡易電波暗室で実施し、対策完了後のデータ取得に認証試験サイトを利用する方が経済的です。



およそ **80万円** もお得

1日8時間の想定で5日間利用した際の費用イメージ  
※他社電波暗室は1日20万円の想定

※今回のキャンペーン価格での比較

## 【オプション】

### 電磁波可視化システム



1時間あたり **2,000円**

基板や製品から放射されるノイズをヒートマップ状に可視化できるシステムです。

### Δ型電源インピーダンス安定化回路網



1時間あたり **1,000円**※2

雑音端子電圧測定でディファレンシャルモードノイズとコモンモードノイズの切り分けができます。

※2 通常のV型電源インピーダンス安定化回路網の利用については基本料金に含まれております。

【WTI電波暗室ご予約状況について】以下のURLからご確認ください。

<https://www.wti.jp/contents/emi-01.htm>

機器の高速化に伴い製品開発の工程では、EMC（Electro-Magnetic Compatibility：電磁両立性）対策の占める割合が増加する傾向にあります。

Wave Technology（WTI）ではこれらお客様が抱える製品開発上の課題をクリアするため、各種国際規格（IEC、FCC、CISPR、VCCI）に対応した簡易電波暗室や伝導ノイズ、放射ノイズの分析に必要な設備を保有しており、電波暗室レンタルサービスとして提供しております。

これら試験設備は、関西圏からアクセスの良い兵庫県の川西本社にございます。

本社 株式会社Wave Technology 〒666-0024 兵庫県川西市久代3丁目13番21号

メールでのお問い合わせ先：tech@wti.jp